



保育園が4月3日に開園

児童数の減少や施設の老朽化などから、千草保育園、若草保育園、三葉保育園を統合し、平成25年4月3日に「たてしな保育園」が誕生しました。

立科町では、平成20年7月に「子育て支援あり方検討懇話会」を設置し、急速に進む少子化社会に対応するための子育てのあり方について検討を開始。翌年に「立科町保育所整備検討委員会」、22年度に「保育所整備審議会」を設け、統合保育園の建設を町長に答申。23年度に「立科町保育所建設委員会」を設置し、百を超える意見や要望を充分検討しました。そして、平成24年5月に建設工事を開始し、工事が順調に進み、平成25年2月8日に竣工しました。

「たてしな保育園」の名称は、誰にも親しみやすく、町の未来を背負う子どもたちの健やかな成長を願って、多くの応募の中から選ばれました。

施設面では、建物の91%を立科町の唐松材を使用し、給食室を電化厨房設備にして衛生・安全面を高めました。400㎡の広さの遊戯室は緊急時の避難場所としても活用されます。

また、保護者とコミュニケーションを深めるため、今まで玄関で行っていたお預かり・お引渡しを各クラスの前で行う配置にしました。

保育内容は、「立科教育の入り口としての幼児教育の充実」を図ることを目指し、保育目標に「心身ともに健康でいきいきした子ども」を掲げました。

子ども達が、新しい保育園に一日も早く慣れて楽しく元気に過ごすことを願っています。

1 保育理念 「子どもの最善の利益を考慮し、健全な心身の発達を図り、生きる力の基礎を培います。」

2 たてしな保育園保育目標 心身ともに健康でいきいきした子ども

めざす子ども像

- (1) 笑顔で明るくあいさつのできる子ども
- (2) 元気いっぱい遊べる子ども
- (3) もりもり進んで食べる子ども
- (4) 思いやりのある心豊かな子ども
- (5) 自分で考えてやろうとする子ども

保育方針

- ・養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助する。
- ・保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをする。

